

す い せ い レモン彗星を見よう



1997年に見えた
ヘール・ボップ彗星



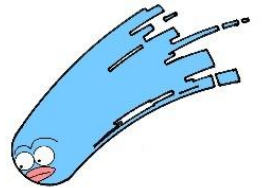
2024年に見えた
紫金山・アトラス彗星

2024 年に見えた「紫金山・アトラス彗星」
に続き、今年もレモン彗星という天体が
双眼鏡などを使えば見えそうです。

どのように見えるのか、そもそも彗星とは
何かについて、この資料で知って、なかなか見
るチャンスがない「彗星」という天体を実際
に観察してみましょう。

1. 10月20日ごろ～11月9日ごろ、夕方^{ゆうがた}の西^{にし}の空^{そら}に見える！

レモン彗星は、10月20日ごろ～11月9日ごろに夕方^{ゆうがた}の西^{にし}の空^{そら}で見られます。
ただ10月28日ごろから11月7日ごろは月明かりの影響^{えいきやう}で見づらくなります。



2. 観察は空^{かんさつ}が暗^{くら}く、西^{にし}の視界^{しかい}が良^よいところで！

彗星はとても淡い天体です。できるだけ街明かりがなく、空^{そら}が暗^{くら}いところで観察^{かんさつ}しましょう。また、
レモン彗星は西^{にし}の低^{ひく}いところに見えるので、視界^{しかい}が開^{ひら}けたところで見ましょう。



3. しっかりと寒^{さむ}さ対策^{たいさく}をして、車^{くるま}にも注意^{ちゆうい}！

この時期は寒^{さむ}くなってきます。しっかりと防寒着^{ぼうかんぎ}で観察^{かんさつ}しましょう。また、道路^{どうろ}
や駐^{ちゆう}車^{しゃ}場^{じやう}など車^{くるま}が来^きるところでの観察^{かんさつ}は危^き険^{けん}です。気^きをつけましょう。

4. 尾^おが長^{なが}く伸^のびた絵^えのような姿^{すがた}を想像^{そうぞう}してはいけません！

星空^{ほしそら}を見慣^{みな}れていない人にとって、彗星^{すいせい}を見つけることは、とても難^{むずか}しいです。写真^{しゃしん}で見^みるような尾^お
が長^{なが}く伸^のびた姿^{すがた}を想像^{そうぞう}せず、彗星^{すいせい}の位置^{いち}が書^かき込^こまれた図^ずをもとに、予想^{よそう}される位置^{いち}を丹念^{たんねん}に探^{さが}
しましょう。小^{あわ}さな淡^{くも}い雲^{すうがた}のような姿^{すがた}が見^みつかるはず^{はず}です。

5. 双眼鏡^{そうがんきやう}がベストです！

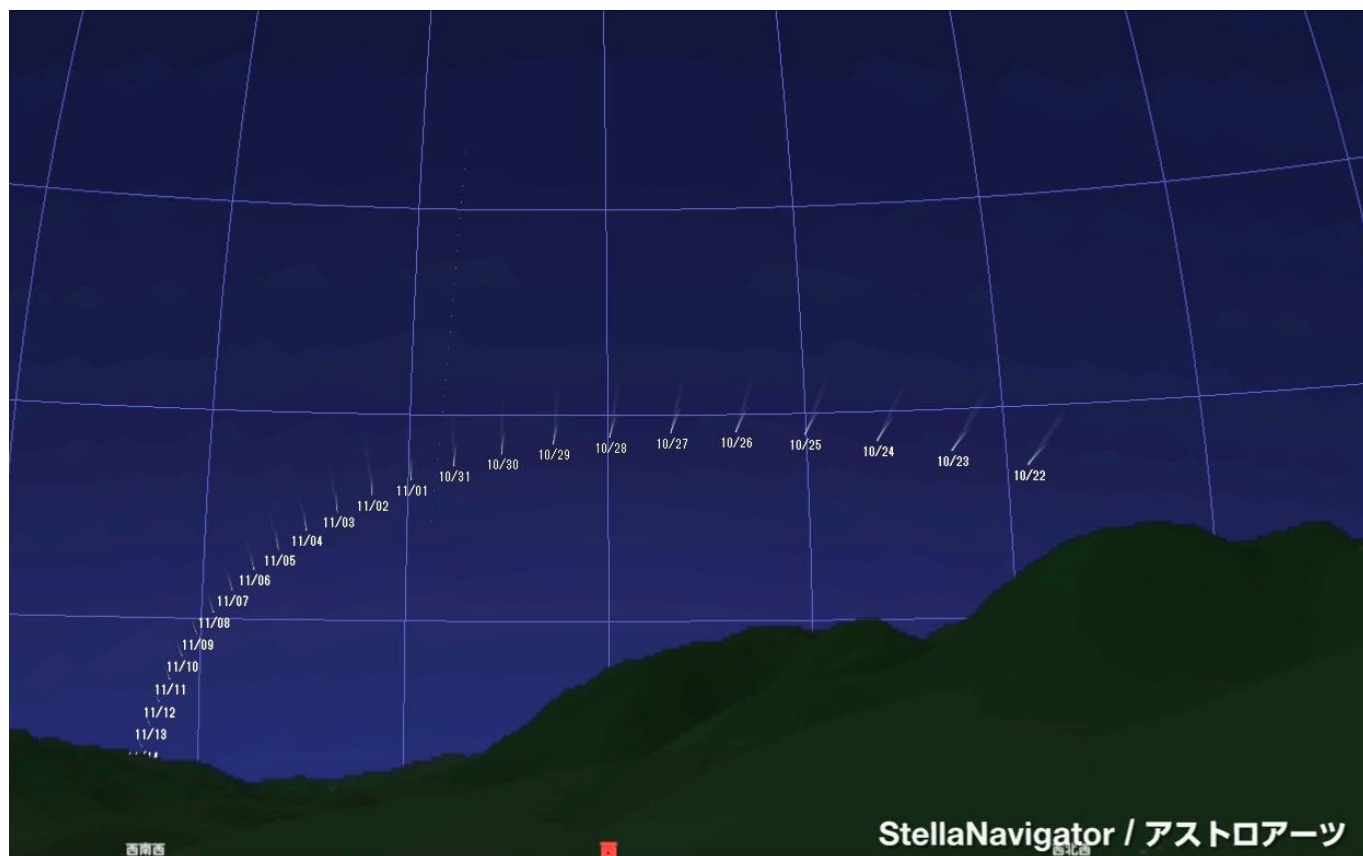
レモン彗星は肉^{にく}眼^{がん}では見^みづらいです。双^{そう}眼^{がん}鏡^{きやう}で見るのが一^{いち}番^{ばん}良^よいでしょう。

6. 知^{おし}っている人^{ひと}に教^{おし}えてもらいましょう！

さジアストロパークでは「レモン彗星を見よう」というイベントをおこないます。



☆しもん^{すいせい}彗星の^{かた}見つけ方



10月22日(水)～11月14日(金)の各日18時30分のレモン彗星の位置

レモン彗星は上の図のように、暗くなった時間帯、西寄りの高さ20度弱くらいのところにいます。目では見つらいので、この位置を双眼鏡で探すと、ぼんやりと淡い雲のような姿が確認できるかもしれません。図のように長く尾を伸ばした姿には見えませんので（もし尾が見えれば、この方向だということを表しています）、注意が必要です。



10月22日(水)18時30分



10月23日(木)18時30分



10月24日(金) 18時30分



10月25日(土) 18時30分



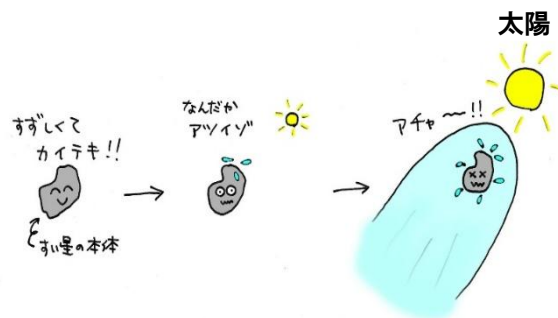
10月26日(日) 18時30分



10月27日(月) 18時30分

☆彗星って、どんな天体？

「彗星」という天体は、主に氷でできています。そのなかにチリもたくさん含まれていて、太陽に近づくとき、熱によって溶け出し、内部から激しくガスを吹き出します。それとともにチリも吹き飛ばされ、彗星の本体をぼんやりとつつんだり（「コマ」と呼ばれます）、太陽の影響を受けて流されて「尾」となったりします。彗星の本体（彗星核）は天体としては小さく、数km～数十kmほどしかありません。



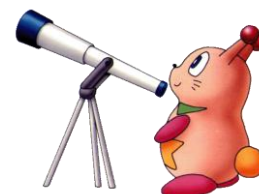
☆彗星は「太陽系の化石」

今から46億年くらい前、太陽系では「微惑星」が衝突・合体などを繰り返し、だんだんと大きくなって、惑星や天体たちになったと言われています。

その惑星の材料となった「微惑星」が、今に残っているものが「彗星」や「小惑星」です。つまり、「彗星や小惑星は“太陽系の化石”」のような天体で、これらを調べることで、どんな材料から地球をはじめとする惑星や天体たちが作られたのかを知る手がかりとなるのです。

☆1000年強で太陽のまわりをまわるレモン彗星

レモン彗星は、およそ1350年ぶりに太陽に近づき、次回はおよそ1150年後に戻ってくると計算されています。そんなレモン彗星を見られるなんて、なんともラッキーですね。



緊急企画 宇宙ふしぎ体験「レモン彗星を見よう」

内容：予想以上に明るくなりそうなレモン彗星（4等）を実際に観察します。高さが低く、103cm大型望遠鏡で見ることはできませんが、外の広場で小型望遠鏡や双眼鏡で観察します。またスマートフォンでの撮影にもチャレンジできます。

日時：2025年10月22日(水)～26日(日) 各日18時00分～19時00分

18:00～18:15 レモン彗星の説明会（会議室）

18:20～19:00 レモン彗星の観察会

スマートフォンでの撮影チャレンジ（外の広場）

※双眼鏡や小型望遠鏡で観察します。レモン彗星は高さが低く、103cm大型望遠鏡を向けることができません。

※スマートフォンは各自でご持参下さい。iphone11以上の機種であれば、ナイトモードでレモン彗星が撮れる可能性が高いです。



参加費：一般(高校生以上)300円、中学生以下無料（入館料として）

※20時からの夜間観望会に参加される場合は別途、一般(高校生以上)300円、小中学生200円が必要で、先着40名となりますので、ご了承下さい。

定員：定員なし、申し込み不要。

備考：雨天曇天時は中止します。



← 9月27日早朝、さじアストロパークでとらえたレモン彗星



鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

電話 0858-89-1011

電子メール sj-astro@city.tottori.lg.jp